

第五次地域管理経営計画書

第一次変更計画書

(香川森林計画区)

計画期間

〔 自 平成28年4月1日 〕
〔 至 平成33年3月31日 〕

[変更年月 平成29年3月]

四 国 森 林 管 理 局

第五次地域管理経営計画（香川森林計画区）の変更について

【変更理由】

以下の理由により、国有林野管理経営規程（平成11年1月21日付け農林水産省訓令第2号）第6条第9項に基づき変更する。

- ① レクリエーションの森の設定の見直しに伴う機能類型の変更
- ② 平成28年5月に閣議決定された森林・林業基本計画や全国森林計画を踏まえた森林施業の低コスト化の推進等のための「管理経営の指針」の変更

【変更する項目】

- 1 国有林野の管理経営に関する基本的事項
 - (2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項
 - ① 山地災害防止タイプに関する事項
 - ② 自然維持タイプにおける管理経営の指針その他自然維持タイプに関する事項
 - ③ 森林空間利用タイプに関する事項
 - ⑤ 水源涵養タイプにおける管理経営の指針その他水源涵養タイプに関する事項
- 4 国有林野の活用に関する事項
 - (1) 国有林野の活用の推進方針

別冊 管理経営の指針

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

機能類型区分別の国有林野の面積

(単位：ha、%)

	山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	計
面積	<u>349</u> (5)	<u>34</u> (-)	<u>968</u> (13)	— —	<u>6,175</u> (82)	7,526 (100)

注：() の数値は、機能類型タイプの面積の割合 (%) である。

① 山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他山地災害防止タイプに関する事項

山地災害防止タイプの面積

(単位：ha)

区 分	山地災害防止 タイプ	うち土砂流出・ 崩壊防備エリア	うち気象害防備 エリア
面 積	<u>349</u>	<u>323</u>	<u>26</u>

イ 気象害防備エリア

遮蔽能力が高く、諸害に対する抵抗力が強い森林の育成に配慮した施業を行う。

② 自然維持タイプにおける管理経営の指針その他自然維持タイプに関する事項

原則として自然の推移に委ねることとし、野生生物の生息・生育環境の保全等に配慮した施業を行う。

自然維持タイプの面積

(単位：ha)

区 分	自然維持タイプ	うち保護林
面 積	<u>34</u>	—

③ 森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他森林空間利用タイプに関する事項

森林空間利用タイプの面積 (単位：ha)

区 分	森林空間利用タイプ	うちレクリエーションの森
面 積	<u>968</u>	<u>746</u>

⑤ 水源涵養タイプにおける管理経営の指針その他水源涵養タイプに関する事項

水源涵養タイプの面積 (単位：ha)

区 分	水源涵養タイプ
面 積	<u>6,175</u>

4 国有林野の活用に関する事項

(1) 国有林野の活用の推進方針

レクリエーションの森の種類別の名称、箇所数及び面積

種 類	箇所数	面積 (ha)	備 考
風景林	<u>5</u>	<u>746</u>	
計	<u>5</u>	<u>746</u>	

注：自然休養林は、廃止のため削除。